

令和7年度 青森県立八戸西高等学校 スポーツ科学科2学年

特別授業「八戸学院大学高大連携事業 ハチガクラボ」

実施年月日:第1回 令和7年9月30日(火) 第2回 令和7年10月14日(火)

実施場所:本校第一体育館

概要:八戸学院大学高大連携事業の一環として行われる「ハチガクラボ」に参加し、大学教授による講義、実験及び演習等の専門的な授業を通して最先端理論の習得を図るとともに、将来、体育・スポーツの各分野の指導者として活躍していくための資質向上を図る。

講師:八戸学院大学 有光 琢磨 氏、 泉水 朝宏 氏



スポーツ科学科生徒の感想

小森 大輝(三沢第一中学校出身・硬式野球部)

自分がハチガクラボの実習で印象に残ったのは、ガムを噛むと脳が活発になるのかという実験です。野球をしている自分は、メジャーリーグの選手がガムを噛んでいるのを見て効果があるのか気になっていました。実際にガムを噛みながらフラッシュ暗算をすると、集中力が高まり結果も良くなりました。自分の疑問について実験を通して確かめられ、とても良い経験になりました。

四竈 大翔(三条中学校出身・陸上競技部)

八戸学院大学の方々と一緒にいったハチガクラボでは、身近なテーマで科学的に体の変化を調べる実験を体験でき、とても興味深かったです。握力や反応速度、脈拍などを比べる中で、自分の体が意外な影響を受けることを実感しました。大学生の皆さんの説明も分かりやすく、楽しく学べた二日間でした。普段何気なくしている動作にも、科学的な視点を持つことの大切さを感じました。